

発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ  
(2021年度の受付・回答分)

2022年6月



**電力広域的運営推進機関**  
Organization for Cross-regional Coordination of  
Transmission Operators, JAPAN

## - はじめに -

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第181条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する前年度までの実績について公表している。

今回、2021年度（2021年4月～2022年3月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

本資料は2021年度の受付及び回答状況の取りまとめであることから、引用する業務規程及び送配電等業務指針（以下、規定等という。）の条文は、同年度末日時点で適用される規定等を用いる記載としている。また、本資料が用いる電気事業者の類型は、同年度末日時点で施行されている電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第七十号）に規定される定義を用いる記載としている。

なお、本資料の取りまとめについては、前年度公表資料（2020年度受付及び回答状況の取りまとめ）から以下のとおり記載内容を変更している。

- ① 2020年10月1日より電源接続案件一括検討プロセスが導入されたことを踏まえ、電源接続案件一括検討プロセスの実施状況を<参考2>に追加。

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	16
<参考 1>年度推移	17
(1) 事前相談	17
(2) 接続検討	18
(3) 契約申込み	19
<参考 2>電源接続案件一括検討プロセス実施状況	20

## 1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京PG
中部電力パワーグリッド株式会社	中部PG
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

## 2. 集計結果

### 2.1. 事前相談

#### 2.1.1. 受付件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。事前相談の受付件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加。特に北海道NWと東京PGが大幅に増加。

表1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）（件）

受付会社	前年度（2020年度）			当年度（2021年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	27	0	27	68	0	68	41
北海道NW	142	425	567	398	1,335	1,733	1,166
東北NW	293	888	1,181	597	1,313	1,910	729
東京PG	190	874	1,064	954	2,456	3,410	2,346
中部PG	113	1,706	1,819	337	1,708	2,045	226
北陸送配	45	169	214	87	252	339	125
関西送配	146	1,296	1,442	377	1,823	2,200	758
中国NW	143	752	895	301	1,199	1,500	605
四国送配	30	296	326	82	542	624	298
九州送配	190	1,600	1,790	451	1,518	1,969	179
沖縄電力	1	43	44	5	24	29	▲ 15
合計	1,320	8,049	9,369	3,657	12,170	15,827	6,458

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

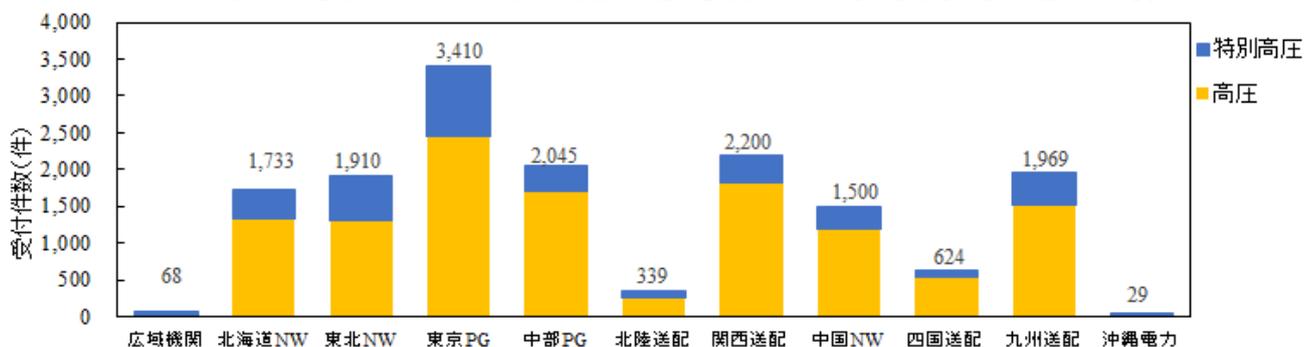


図1 事前相談の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)

[2021年度]

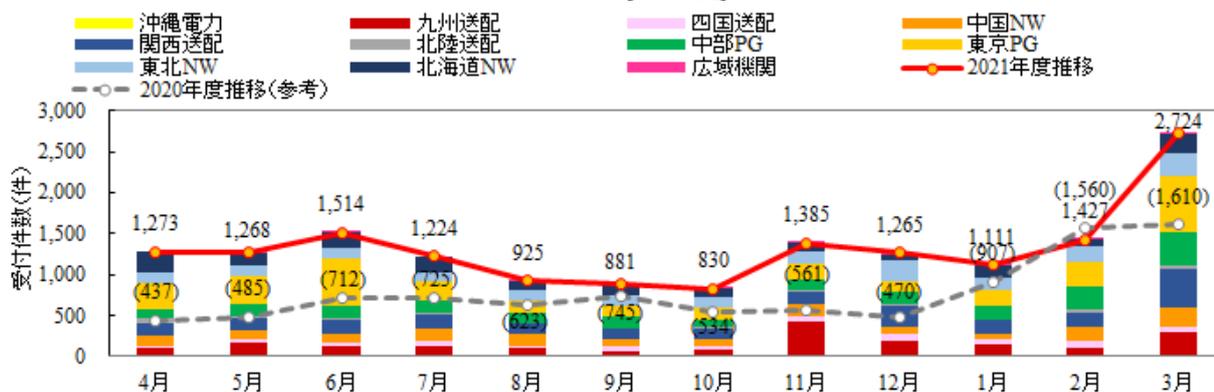


図2 事前相談 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)

[2021年度]

## 2.2. 接続検討

### 2.2.1. 受付件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の受付件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加。特に、北海道NW、東北NW及び東京PGが大幅に増加。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度（2020年度）			当年度（2021年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	74	2	76	75	1	76	0
北海道NW	50	39	89	112	273	385	296
東北NW	297	127	424	309	370	679	255
東京PG	89	354	443	141	1,241	1,382	939
中部PG	51	179	230	79	312	391	161
北陸送配	29	26	55	24	30	54	▲ 1
関西送配	58	79	137	74	159	233	96
中国NW	48	58	106	84	122	206	100
四国送配	8	21	29	30	45	75	46
九州送配	67	106	173	87	98	185	12
沖縄電力	1	5	6	0	5	5	▲ 1
合計	772	996	1,768	1,015	2,656	3,671	1,903

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

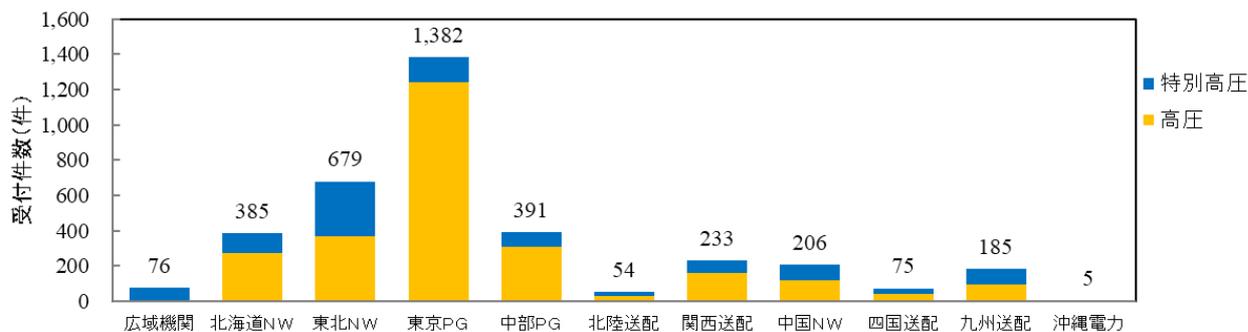


図3 接続検討 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)

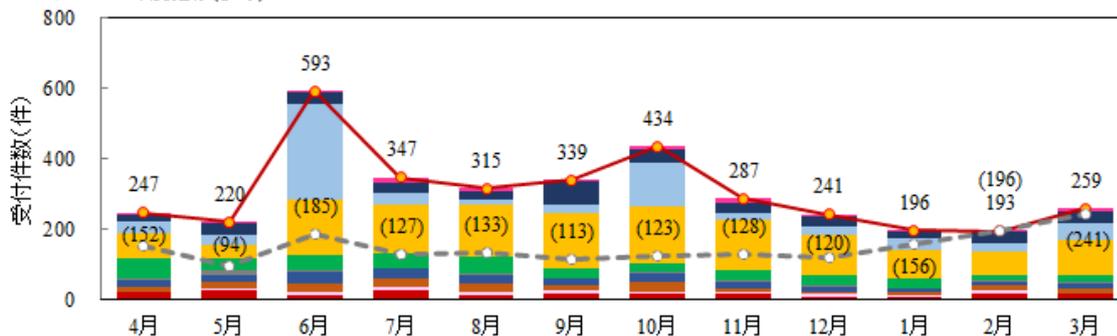


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)

## 2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおり。広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。また、接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数は、東北エリアでは風力比率が高く、東京エリアでは太陽光比率が高い。また、前年度と比較すると太陽光の受付件数が大幅に増加。

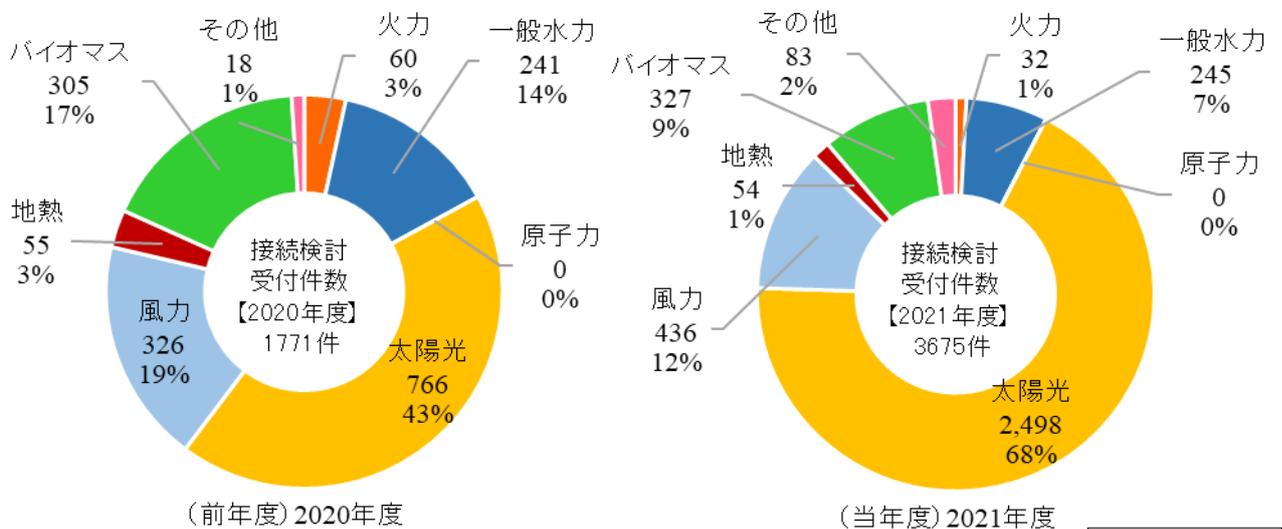
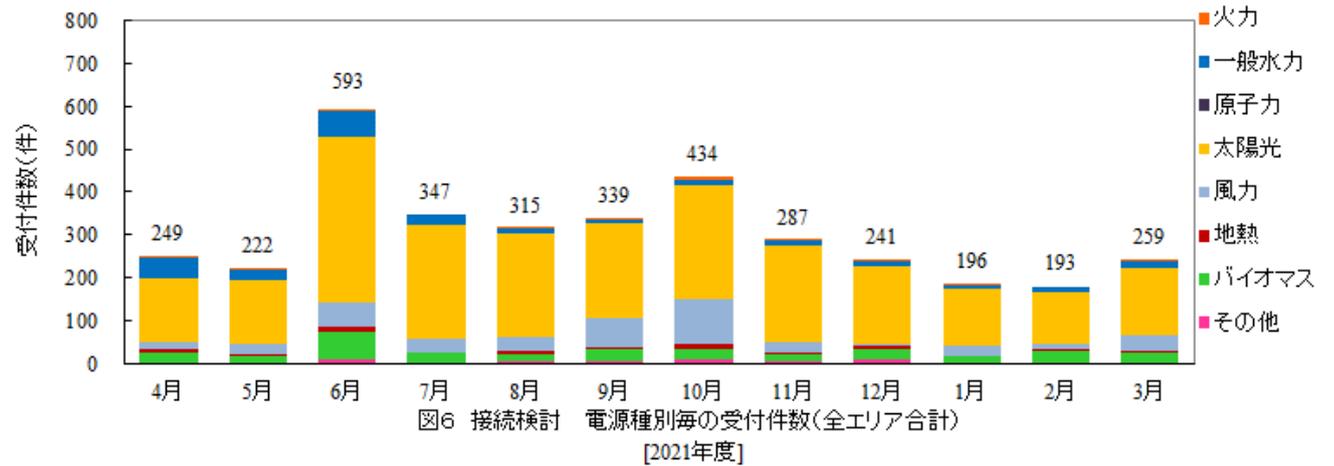
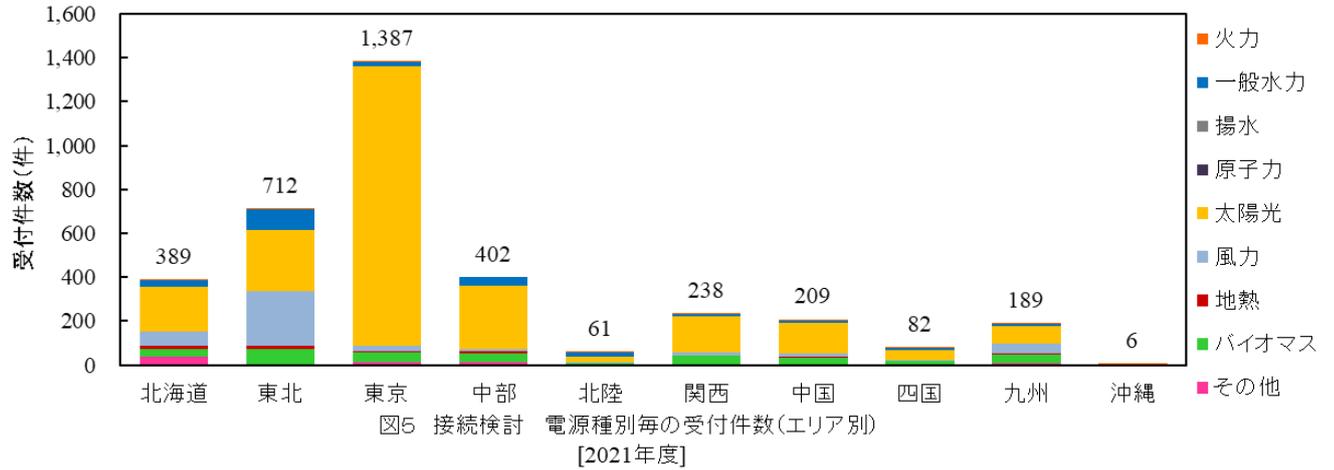


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)

[2021年度]

[円グラフ種別]  
 上段:電源種別  
 中段:件数  
 下段:割合(%)

### 2.2.3. 回答件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に回答を行った接続検討の回答件数は以下のとおり。接続検討の回答件数は、前年度と比較して増加。特に、北海道NW、東北NW及び東京PGが増加。また、大半のエリアにおいて、ノンファーム型接続を適用した回答が進んでいる。

表3 接続検討の回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度（2020年度）						当年度（2021年度）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
広域機関※1	81	(1)	0	(-)	81	(1)	78	(25)	2	(-)	80	(25)	▲ 1
北海道NW	29	(-)	19	(-)	48	(-)	97	(61)	219	(167)	316	(228)	268
東北NW	273	(3)	113	(1)	386	(4)	353	(276)	345	(292)	698	(568)	312
東京PG	65	(26)	247	(126)	312	(152)	149	(108)	1,079	(764)	1,228	(872)	916
中部PG	57	(-)	153	(-)	210	(-)	74	(2)	333	(4)	407	(6)	197
北陸送配	53	(-)	27	(-)	80	(-)	21	(2)	26	(-)	47	(2)	▲ 33
関西送配	45	(-)	57	(-)	102	(-)	73	(3)	162	(2)	235	(5)	133
中国NW	44	(-)	47	(-)	91	(-)	76	(14)	119	(44)	195	(58)	104
四国送配	16	(-)	16	(-)	32	(-)	25	(6)	48	(6)	73	(12)	41
九州送配	55	(10)	85	(2)	140	(12)	84	(36)	108	(39)	192	(75)	52
沖縄電力	1	(-)	7	(-)	8	(-)	0	(-)	1	(-)	1	(-)	▲ 7
合計	719	(40)	771	(129)	1,490	(169)	1,030	(533)	2,442	(1,318)	3,472	(1,851)	1,982

- ※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。
- ※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。
- ※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。
- ※4 ( )内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲。

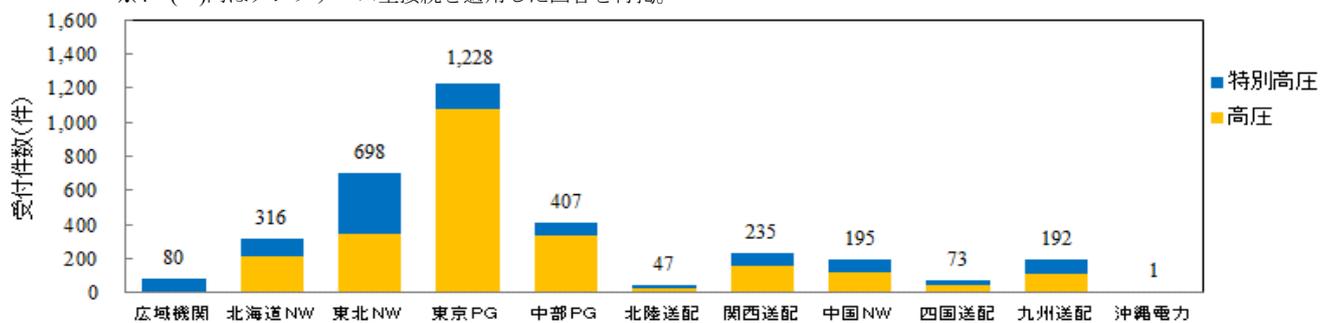


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2021年度]

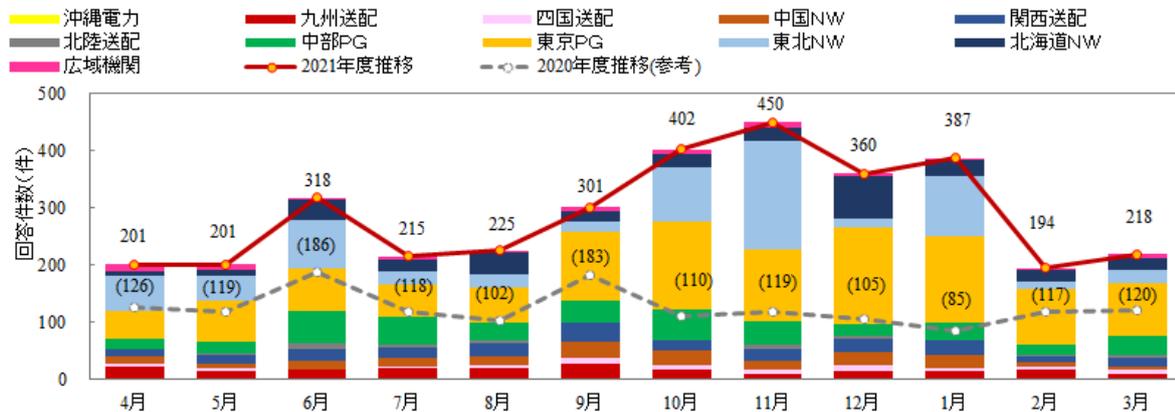


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者) [2021年度]

## 2.2.4. 検討期間

2021年度（2021年4月～2022年3月）に回答を行った接続検討の検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第86条の規定を踏まえ、3か月を標準期間として確認。

接続検討の検討期間（3か月）を超過している件数は、全体の26%。超過理由の主な内容は、受付者都合（申込集中・特殊検討・検討量大）が多い。

表4 接続検討の検討期間(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答 件数	3か月 以内	3か月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	80	41	39	0	3	13	19	2	1	0	0	1
北海道NW	316	267	49	0	4	9	32	1	2	0	0	1
東北NW	698	383	315	3	2	64	6	0	228	0	0	12
東京PG	1,228	838	390	10	22	117	233	0	3	0	0	5
中部PG	407	389	18	1	4	0	12	0	0	0	0	1
北陸送配	47	43	4	1	1	0	0	0	0	0	0	2
関西送配	235	228	7	0	5	0	1	0	1	0	0	0
中国NW	195	184	11	0	4	0	7	0	0	0	0	0
四国送配	73	72	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	192	116	76	2	5	7	37	1	4	0	0	20
沖縄電力	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,472	2,562	910	17	51	210	347	4	239	0	0	42

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

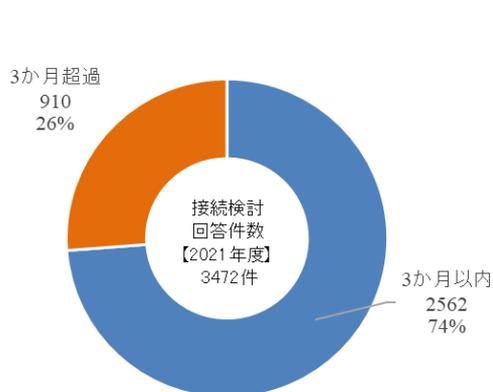


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績  
(広域機関と一般送配電事業者の合計)

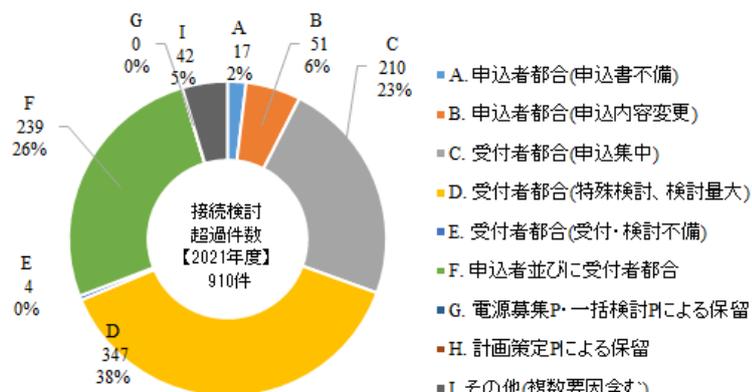


図11 接続検討の回答予定日超過理由  
(広域機関と一般送配電事業者の合計)  
[2021年度]

[円グラフ種別]  
上段:超過理由  
中段:件数  
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討<sup>※1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス<sup>※2</sup>および電源接続案件一括検討プロセス<sup>※2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス<sup>※3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

### 2.2.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2021年度末（2022年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

表5 接続検討の回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

(広域機関および一般送配電事業者の合計)

(件)

受付会社	2020年度末	2021年度末	増減
広域機関	1	5	4
北海道NW	35	55	20
東北NW	5	21	16
東京PG	91	82	▲ 9
中部PG	0	0	0
北陸送配	6	6	0
関西送配	3	0	▲ 3
中国NW	0	3	3
四国送配	0	0	0
九州送配	27	9	▲ 18
沖縄電力	0	3	3
合計	168	184	16

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

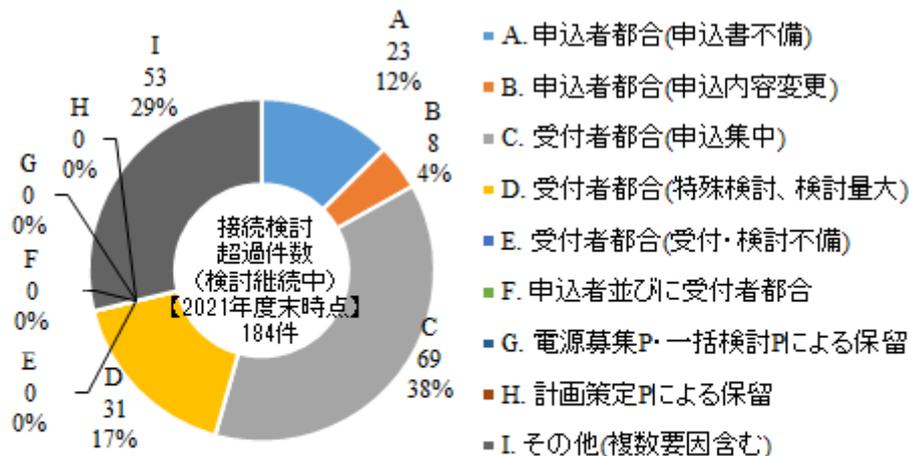


図12 接続検討 回答予定日超過理由(検討継続中)

(広域機関+一般送配電事業者合計)

[2021年度末時点]

[円グラフ種別]

上段: 超過理由

中段: 件数

下段: 割合(%)

## 2.3. 契約申込み

### 2.3.1. 受付件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの受付件数は、前年度と比較して増加したエリアが多い。特に、東京PGで大幅に増加。

表6 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2020年度）			当年度（2021年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	11	14	25	24	61	85	60
東北NW	228	104	332	87	28	115	▲ 217
東京PG	14	160	174	22	391	413	239
中部PG	26	70	96	19	122	141	45
北陸送配	22	11	33	18	9	27	▲ 6
関西送配	36	34	70	43	69	112	42
中国NW	13	24	37	24	43	67	30
四国送配	3	12	15	16	26	42	27
九州送配	26	43	69	34	39	73	4
沖縄電力	0	3	3	2	0	2	▲ 1
合計	379	475	854	289	788	1,077	223

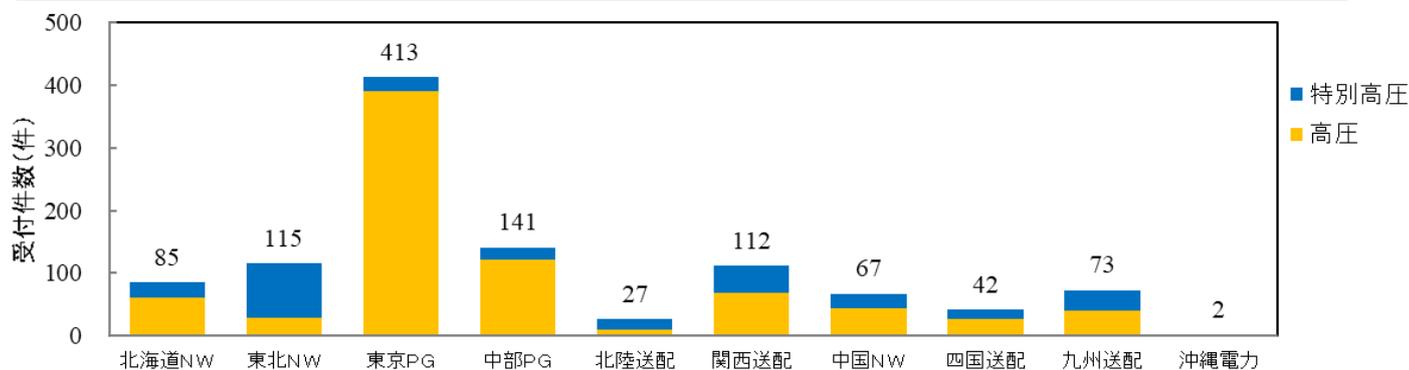


図13 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者別)  
[2021年度]

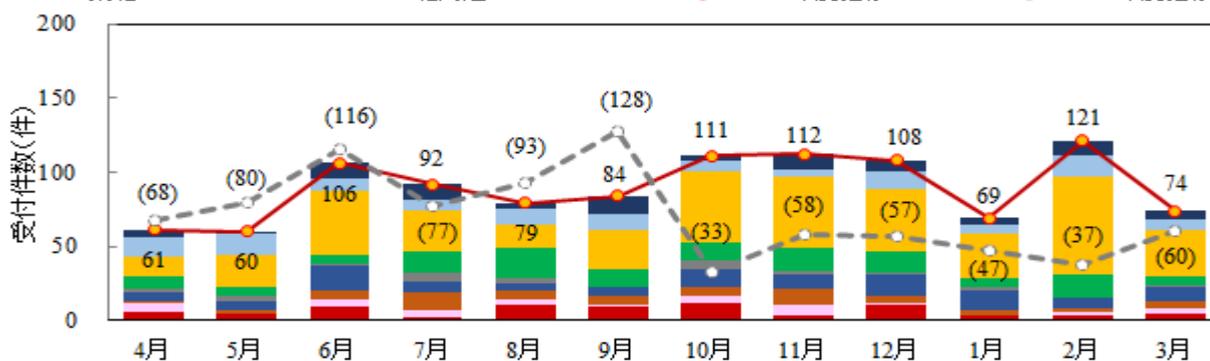


図14 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者合計)  
[2021年度]

### 2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数の比率は、前年度と同様に太陽光が高く半数を占めている。他方、風力の受付件数は、前年度と比較して減少。

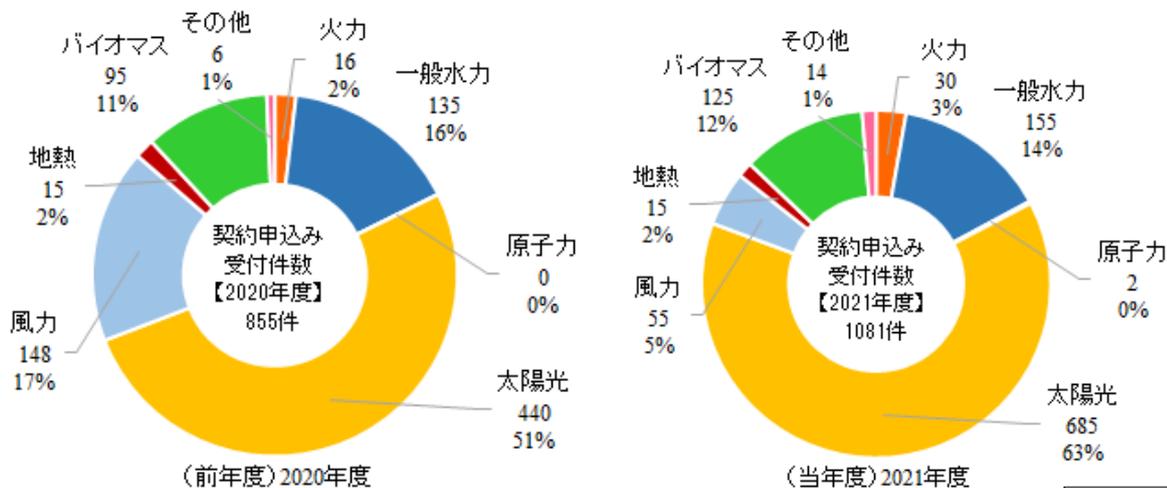
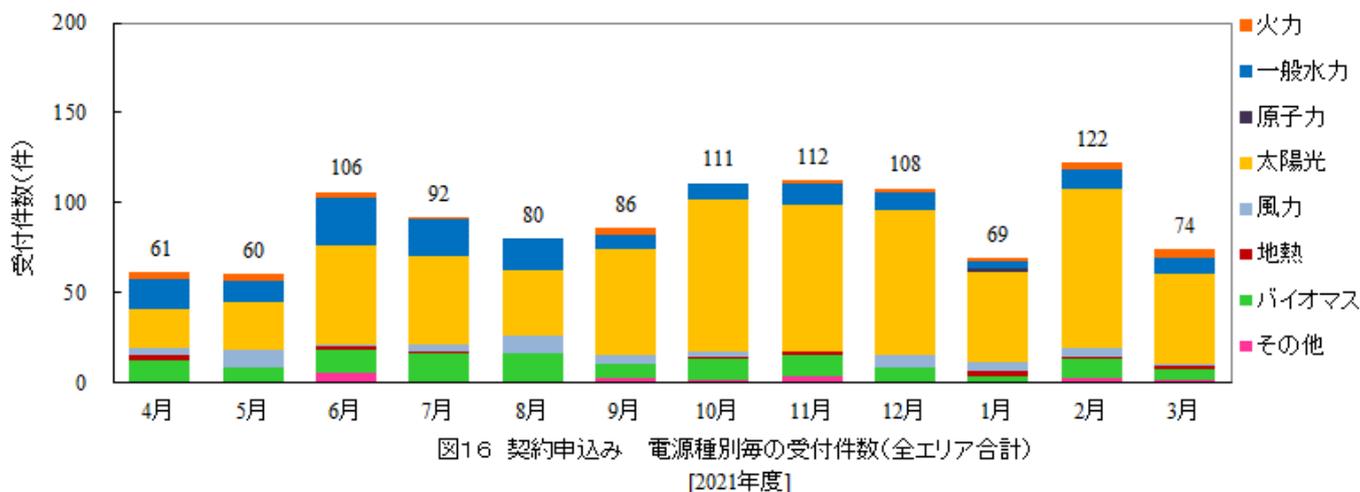
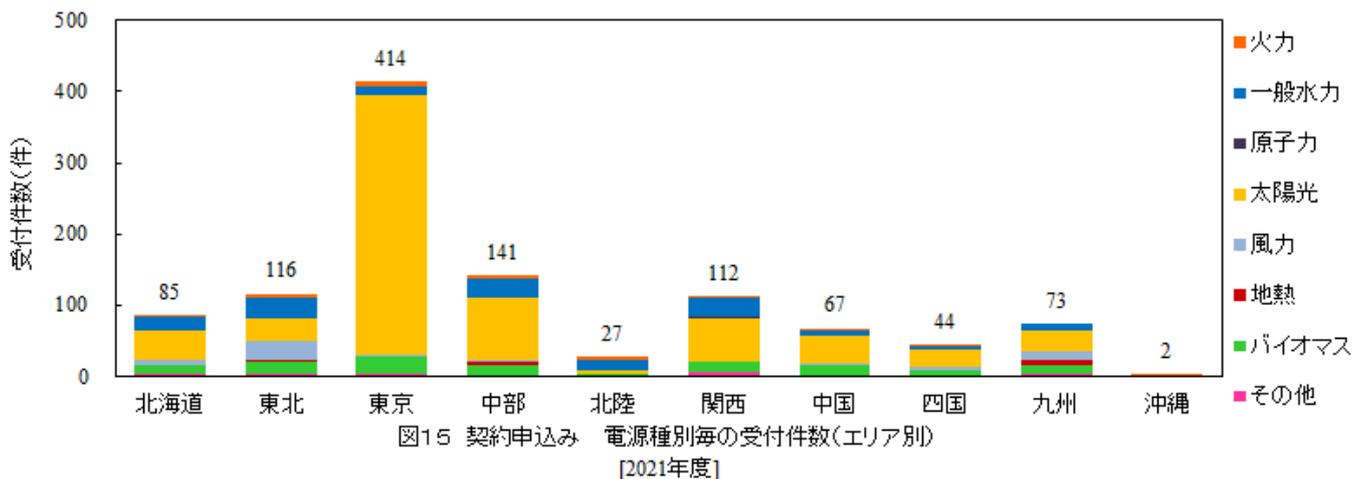


図17 契約申込み 電源種別毎の受付件数割合 (全エリア合計) [2021年度]

[円グラフ種別]  
 上段: 電源種別  
 中段: 件数  
 下段: 割合(%)

### 2.3.3. 回答件数

2021年度（2021年4月～2022年3月）に回答を行った契約申込みの件数および検討期間は以下のとおり。契約申込みの回答件数は、前年度と比較して同程度。東京PGが増加した一方、東北NWは減少。またノンファーム型接続を適用した回答を行ったエリア及びその回答件数は、前年度より増加。

表7 契約申込みの回答件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2020年度）						当年度（2021年度）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
北海道NW	7	(-)	13	(-)	20	(-)	21	(7)	29	(10)	50	(17)	30
東北NW	207	(-)	83	(-)	290	(-)	112	(-)	22	(1)	134	(1)	▲ 156
東京PG	18	(5)	99	(44)	117	(49)	16	(5)	203	(130)	219	(135)	102
中部PG	29	(-)	66	(-)	95	(-)	14	(-)	92	(-)	106	(-)	11
北陸送配	25	(-)	8	(-)	33	(-)	11	(-)	11	(-)	22	(-)	▲ 11
関西送配	36	(-)	35	(-)	71	(-)	36	(-)	47	(1)	83	(1)	12
中国NW	18	(-)	24	(-)	42	(-)	18	(2)	37	(10)	55	(12)	13
四国送配	5	(-)	11	(-)	16	(-)	9	(-)	26	(-)	35	(-)	19
九州送配	21	(-)	35	(-)	56	(-)	27	(8)	43	(3)	70	(11)	14
沖縄電力	1	(-)	3	(-)	4	(-)	2	(-)	0	(-)	2	(-)	▲ 2
合計	367	(5)	377	(44)	744	(49)	266	(22)	510	(155)	776	(177)	32

※1 ( )内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲

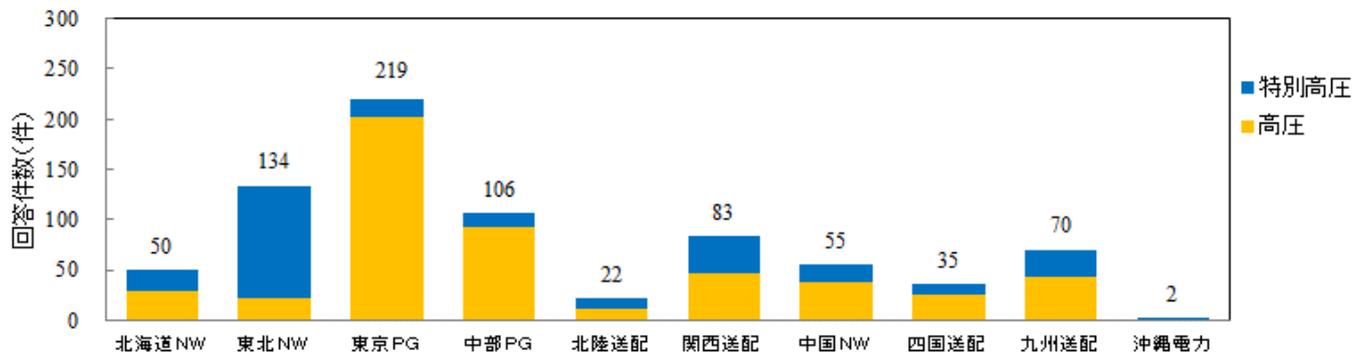


図18 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者別)  
[2021年度]

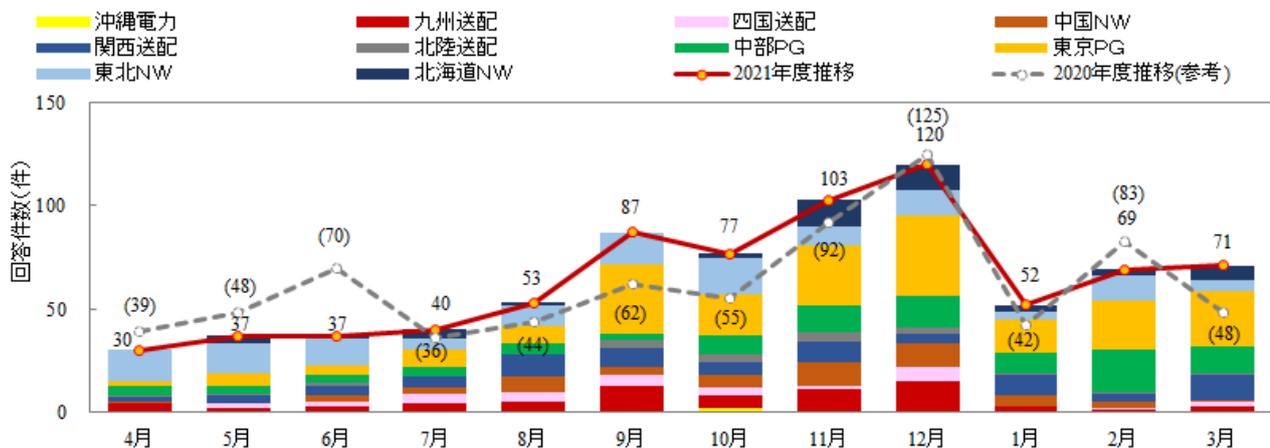


図19 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者合計)  
[2021年度]

### 2.3.4. 検討期間

2021年度（2021年4月～2022年3月）に回答を行った契約申込みの検討期間は以下のとおり。なお、検討期間については、送配電等業務指針第98条に基づき、6か月を標準検討期間として確認した。

契約申込みの検討期間（6か月）を超過している件数は、全体の12%。超過理由の主な内容は、受付者都合（申込集中）のほか、申込者都合（申込内容の変更）が多い。

表8 契約申込みの検討期間(一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答 件数	6か月 以内	6か月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
北海道NW	50	39	11	0	2	4	4	0	0	0	0	1
東北NW	134	97	37	2	3	31	1	0	0	0	0	0
東京PG	219	191	28	6	14	0	5	0	3	0	0	0
中部PG	106	102	4	1	1	0	1	0	1	0	0	0
北陸送配	22	19	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	83	82	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
中国NW	55	54	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	70	59	11	1	1	0	5	2	0	0	0	2
沖縄電力	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	776	680	96	12	23	35	16	2	5	0	0	3

(発電設備等契約申込みの回答期間)

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

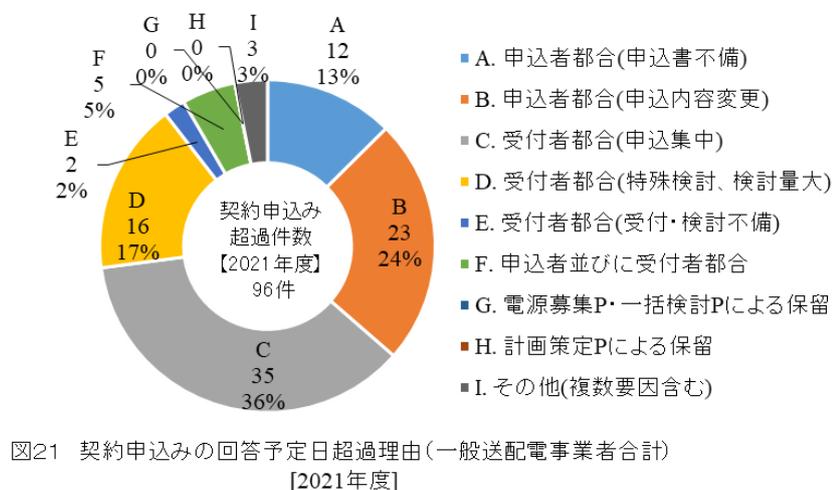
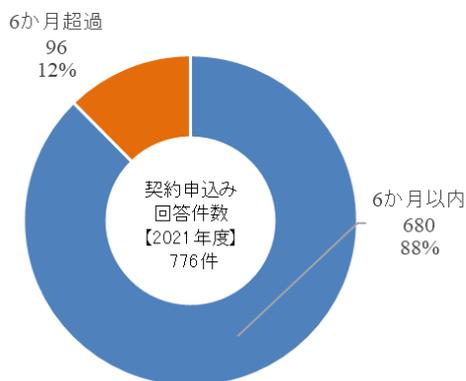


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績(一般送配電事業者合計) [2021年度]

図21 契約申込みの回答予定日超過理由(一般送配電事業者合計) [2021年度]

[円グラフ種別]  
上段:超過理由  
中段:件数  
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討<sup>※1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス<sup>※2</sup>および電源接続案件一括検討プロセス<sup>※2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス<sup>※3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

### 2.3.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2021年度末（2022年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、申込者による契約申込みの継続意思がない案件については、集計の対象から除外した。

表9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

（一般送配電事業者の合計）

（件）

受付会社	2020年度末	2021年度末	増減
北海道NW	17	10	▲ 7
東北NW	10	7	▲ 3
東京PG	56	54	▲ 2
中部PG	4	3	▲ 1
北陸送配	6	6	0
関西送配	18	10	▲ 8
中国NW	26	1	▲ 25
四国送配	0	0	0
九州送配	106	43	▲ 63
沖縄電力	0	0	0
合計	243	134	▲ 109

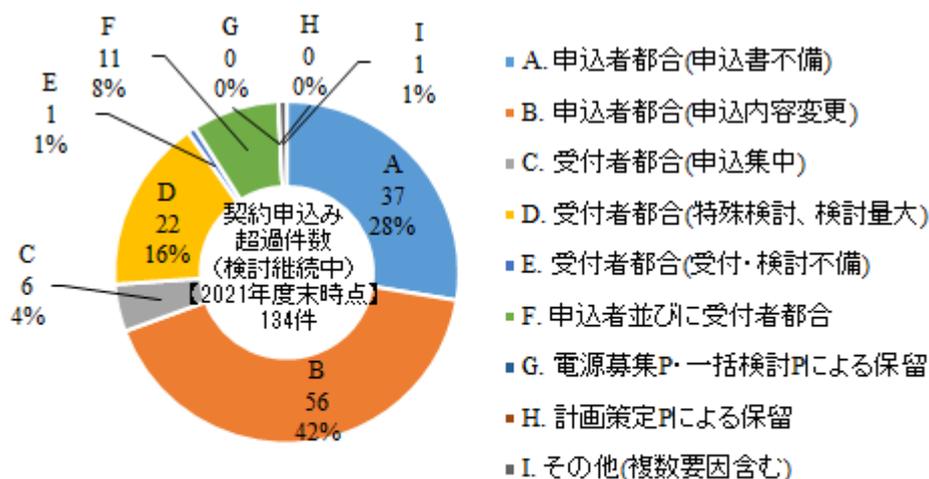


図22 契約申込み 回答予定日超過理由(検討継続中)

（一般送配電事業者合計）

[2021年度末時点]

[円グラフ種別]  
 上段: 超過理由  
 中段: 件数  
 下段: 割合(%)

## <参考1> 年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談は2017年度をピークに減少していたが、2021年度から増加傾向に変化。一方、接続検討および契約申込みは2020年度から増加傾向に変化。

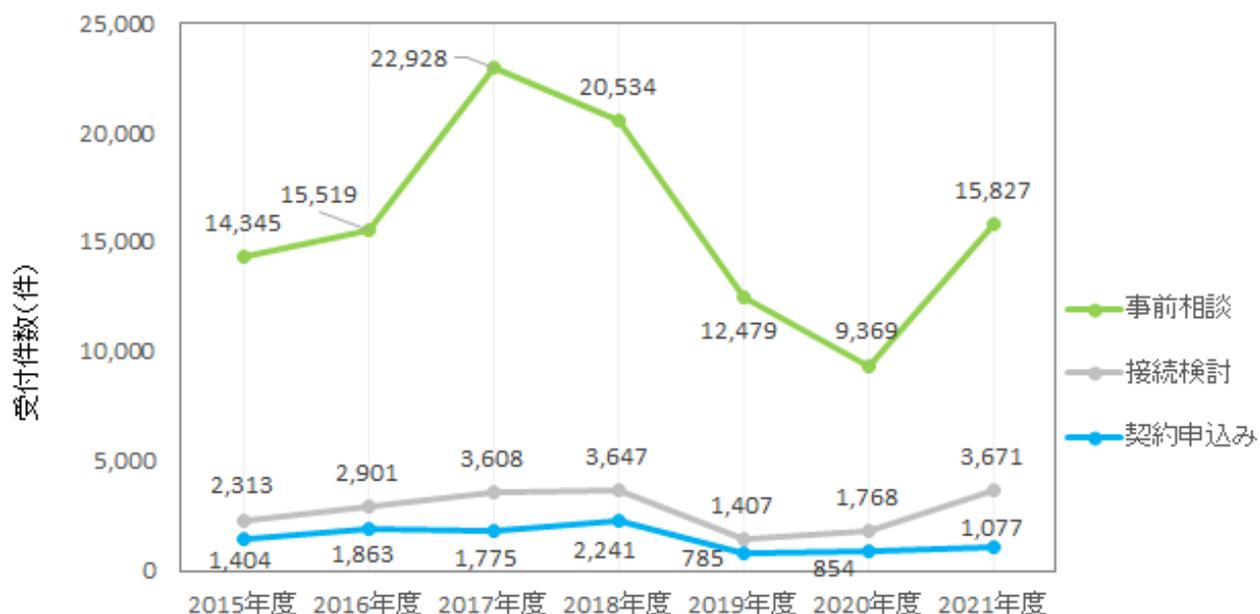


図23 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

### (1) 事前相談

表10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
広域機関	100	333	111	76	41	27	68
北海道NW	396	637	1,592	646	237	567	1,733
東北NW	2,300	1,705	2,529	2,853	1,502	1,181	1,910
東京PG	4,629	3,882	5,396	2,659	1,187	1,064	3,410
中部PG	2,059	3,472	4,136	4,110	1,840	1,819	2,045
北陸送配	332	425	478	622	262	214	339
関西送配	1,930	2,076	3,528	4,318	2,128	1,442	2,200
中国NW	1,123	1,256	2,744	2,405	1,520	895	1,500
四国送配	425	390	546	804	257	326	624
九州送配	1,038	1,256	1,796	2,003	3,484	1,790	1,969
沖縄電力	13	87	72	38	21	44	29
合計	14,345	15,519	22,928	20,534	12,479	9,369	15,827

## (2) 接続検討

表 11 接続検討の各社別受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
広域機関	70	83	53	58	83	76	76
北海道NW	43	106	323	229	65	89	385
東北NW	369	415	443	615	363	424	679
東京PG	638	811	1,085	853	287	443	1,382
中部PG	290	453	485	585	163	230	391
北陸送配	56	102	118	115	79	55	54
関西送配	262	312	354	328	91	137	233
中国NW	191	243	315	431	91	106	206
四国送配	92	134	139	110	42	29	75
九州送配	300	238	291	315	138	173	185
沖縄電力	2	4	2	8	5	6	5
合計	2,313	2,901	3,608	3,647	1,407	1,768	3,671

表 12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
火力	118	66	41	25	59	60	32
一般水力	107	106	132	145	182	241	245
揚水	0	0	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	0	0	0	0
太陽光	1,731	2,005	2,602	2,806	481	766	2,498
風力	165	368	340	303	410	326	436
地熱	16	17	17	14	38	55	54
バイオマス	175	335	469	341	221	305	327
その他	6	7	11	13	21	18	83
合計	2,318	2,904	3,612	3,647	1,412	1,771	3,675

※接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

## (3) 契約申込み

表 13 契約申込みの各社別受付件数の推移 (件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
北海道NW	26	37	187	46	25	25	85
東北NW	217	215	211	329	232	332	115
東京PG	161	538	277	618	174	174	413
中部PG	209	357	267	400	94	96	141
北陸送配	38	83	86	50	26	33	27
関西送配	190	233	256	251	57	70	112
中国NW	64	147	196	242	45	37	67
四国送配	51	71	79	69	20	15	42
九州送配	447	177	210	232	110	69	73
沖縄電力	1	5	6	4	2	3	2
合計	1,404	1,863	1,775	2,241	785	854	1,077

表 14 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移 (件)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
火力	31	30	26	16	19	16	30
一般水力	58	70	76	96	124	135	155
揚水	0	0	2	0	0	0	0
原子力	0	0	0	1	1	0	2
太陽光	1,212	1,462	1,252	1,900	375	440	685
風力	44	168	229	78	113	148	55
地熱	7	8	5	3	11	15	15
バイオマス	56	123	187	143	138	95	125
その他	0	2	3	5	7	6	14
合計	1,408	1,863	1,780	2,242	788	855	1,081

※契約申込み 1 件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

## <参考2> 電源接続案件一括検討プロセス実施状況

2021年度末（2022年3月末）時点における電源接続案件一括検討プロセス（主宰者：一般送配電事業者）の実施状況※は以下のとおり。これまで18件開始し、2022年3月末時点で、うち6件が完了。

※2022年3月末時点の実施状況を記載しているため、本資料公表日の実施状況とは異なる場合がある。

表15 電源接続案件一括検討プロセスの実施状況一覧

会社	件数	対象エリア	開始決定日	応募申込 受付開始日	プロセス 完了(予定)日
東北	8件	福島	2021/3/24	2021/4/26	2023/2 下旬頃
		山形・本荘由利	2021/3/26	2021/4/28	2023/2 月上旬頃
		青森県下北	2021/5/19	2021/6/16	2023/2 中旬頃
		岩手県北部	2021/8/12	2021/10/7	2023/4 月上旬頃
		宮城県北西	2021/8/13	2021/10/8	2023/4 月上旬頃
		新潟県村上	2021/12/14	2022/1/18	2023/7 中旬頃
		宮城県北東および東部大崎	2021/12/15	2022/1/21	2023/8 中旬頃
		青森県三戸	2021/12/16	2022/1/26	2023/8 月上旬頃
東京	1件	群馬東部	2021/7/13	2021/8/13	2023/3 月上旬頃
中部	1件	長野県北部小谷村	2021/9/3	2021/10/1	2023/4 下旬頃
北陸	2件	石川県白山市南部	2020/10/30	2020/11/30	2021/12/1 完了
		石川県能登	2020/11/25	2020/12/25	2022/7 下旬頃
中国	1件	広島県神石高原町、岡山県高梁市・吉備中央町および周辺	2021/2/5	2021/2/16	2021/10/21 完了
九州	5件	大分県西大分	2020/11/11	2021/1/29	2022/1/21 完了
		鹿児島県霧島	2021/1/29	2021/2/26	2021/12/22 完了
		鹿児島県大口市	2021/4/5	2021/5/10	2022/1/26 完了

		大分県日田	2021/7/29	2021/8/26	2023/5 下旬頃
		熊本県菊池	2021/8/4	2021/9/1	2022/3/24 完了